



神奈川県イグレンニュース

<第196号>

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）
発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：愛賢司
〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川県中小企業センタービル7F
Tel./FAX 045-228-7331 <http://www.kanagawa-iguren.com>

2019年3月号

イベントのお知らせ

→ 第80回 西湘サロン

日時	5月13日（月）午後6時30分～8時30分（開場6時）
場所	おだわら市民交流センターUMECO （JR小田原駅東口より徒歩約2分）
内容	<p>話題提供：『関東学院大学材料・表面工学研究所 ～進化する最先端表面処理技術～』</p> <p>高井 治（関東学院大学 材料・表面工学研究所 所長）</p> <p>表面処理全般にわたって基礎から応用、実用化までの研究開発を行う環境が整い、今年から表面処理関連のコンソーシアムを再構築し展開する予定の関東学院大学材料・表面工学研究所。</p> <p>素材の表面を1ナノメートル（10億分の1メートル）という極薄い透明な膜でコーティングし、ハスの葉に似た微細な凹凸を作り出して水を弾く「超はっ水膜技術」を開発した高井所長より、同研究所が目指す、多くの人々の暮らしが豊かになるような最先端の研究成果の数々を、新たにご紹介いただきます。</p>
参加費	1,500円（当日）

※ イベントの詳細は最終ページをご覧ください。

皆さんの参加をお待ちしています。

今月のコンテンツ

1. アジアビジネス探索セミナーNEWS 2 ページ
2. NPO 法人 C&S 経営支援協会
「ものづくり補助金」の申請代行のお知らせ! 5 ページ
3. 閑中閑話..... 6 ページ

巻末 第80回 西湘サロンのご案内

→ アジアビジネス探索セミナーNEWS

アジアが解る 経営が読める 未来が見える 2019. 5.23 第62号

アジアビジネス探索セミナー 編集長・増田 辰弘

第72回アジアビジネス探索セミナー（2019年03月15日開催）の報告

外国人労働者受け入れ拡大法の概要と課題

—今回施行の出入国管理及び難民認定法の一部を改正する法律の概要—

法務省入国管理局入国在留課審査企画室 調整官 伊藤 純史

- 4月から外国人労働者受け入れ拡大する新在留資格14分野の「特定技能」制度を導入する。これからは現行の「技能実習生制度」は継続し、二つの制度が併存するかたちとなる。特定技能の取得者は5年間で最大約34万人、宿泊や介護など業種ごとに概ねの目安を出している。
- 特定技能のそのほぼ半数は技能実習制度を終えた者と想定している。これにはすでに技能実習を終了し帰国しているが再来日する外国人も含まれる。技能実習での日本側の受け入れ機関は今後とも組合などの監理団体だが、特定技能民間の雇用する民間企業となる。
- 特定技能は、実務と筆記による技能水準の確認と一定水準以上の日本語能力を必要とする。この条件を満たせば最長5年間日本に在留できる。受け入れ機関は、過去に労働法令違反がないなどの一定の基準を満たせば直接特定技能の外国人を雇用出来る。
- 今回の制度の導入にあたり、過去技能実習生から多くの失踪者が出るなど一部の悪質な送り出し機関と受け入れ機関を厳しく取り締まり、健全なかたちでの外国人材の活用を実現したい。細部の規則は近くガイドラインを法務省のホームページで公表する。

●ケースにみる外国人労働者の活用（各国事例）

→ ミャンマーのケース（㈱クリタエイムデリカ 社長 栗田 美和子）

○会社の業務はコンビニなどにそばや弁当などを届ける中食で1年365日、1日24時間営業している。従業員400名のうち150名がミャンマーをはじめとするアジアからの技能実習生、留学生である。もはや会社ではなくてはならない存在である。

○彼らが失踪するのも日本で出身国の人間に騙されるというケースが少なくない。彼らは多くがミャンマーなどの田舎から来ていて、純朴で人を信用しやすく、騙されやすい。3年間で100万円貯めると田舎に家が作れるためなる。

→ インドネシアのケース（日本技能実習生支援センター代表 阿部 正一）

○うちの技能実習生からは1人の失踪者も出していない。インドネシア全体でも2.3%である。（参考カンボジア20%、ミャンマー12%、ベトナム5%）これは現地の送り出し機関と日本の受け入れ機関双方に悪質な業者が多く、技能実習生が騙されてお金が支払えなくなったことにある。

○今後とも 技能実習生本人の負担を少なくする。現地で合宿による日本語教育と日本の生活の指導、現地で関連する大学、高校で丁寧な父兄会の実地、宗教指導者による宗教と仕事の指導（イスラム教のため）、警察による治安の指導などありとあらゆる知恵と工夫を駆使して日本に受け入れる。失踪者ゼロ人にはこんな努力の結果である。

→ 中国のケース（㈱ニッチ・モールド 社長 張 兵）

○中国からの技能実習生は現在年間15000人でそのほとんど東北3省からである。特に大連からは5000人で全体の3分の1となる。中国の平均賃金は4.3万円で日本での12万円と所得が大幅に縮小し日本に行く必要がなくなった。親日地域である東北3省だけが残った。

○中国で送り出し機関は287社、そのうち大連は33社である。もう中国からは多くが資金を稼ぐというよりは技術を学びにきている。うち会社でも技能実習生だけで金型製作の現場を担ってついている。新制度では一度帰国しないで良いこと、直接雇用なので組合に支払う1人4万円が助かるなど大変良い制度である。

***** 第73回 (2019年05月23日開催) のご案内 *****

第73回 アジアビジネス探索セミナーのご案内

日 時	2019年5月23日 (木) 18:00-20:00
場 所	中央区八重洲1-7-4 矢満登ビル 5F 会議室 03 (3274) 7788 ルノアール貸会議室 ((東京駅八重洲北口徒歩3分、別添地図参照)

1 基調講演

タイとカンボジアの国境ポイペトで進む工業の生産基地化

— インフラ整備、生活環境も整い魅力的な地域に変貌 —

(株)レプリネット・カンボジア 社長 北野 岳

2 台湾で化粧品のネット通販を行い、5年で9億円の売り上げを

(株)メディプラスインターナショナル 取締役 鈴木 敬

3 アジアビジネス探索 — 今月の驚き報告 (ラオス編)

アジアビジネス探索者 増田 辰弘

4 会費 3,000円 (当日、受付でお支払ください)

※ お申し込み・問合わせ先 氏名とさしつかえなければ、所属先、部署・役職、ご連絡先を明記の上、メールあるいは FAX で事務局までお申込みください。

送付先・アジア経営戦略研究所 アジアビジネス探索セミナー事務局

TEL: 044(542)5811 — FAX : 050(3156)7362

e-mail : a.b.s.s@air.ocn.ne.jp

●編集後記

○(株)クリタエムデリカなどが運営するヤンゴンの国際技術学校では10ヶ月間じっくり日本語を教えるとともに、校内に食品工場があり日本と同じ作業を体験する。バーベルを上げる作業をしている。「あれは何をしているか。」と聞くと、最近ミャンマーでも子供が大事に育てられ力仕事をしなくなった。日本に行って力仕事をするかも知れないために体力を鍛えていると言う。日本と同じ体験をさせて日本に来て戸惑わなくする。大事なことである。(増田)

→ **NPO 法人 C&S 経営支援協会**

理事長 松井利夫

「ものづくり補助金」の申請代行のお知らせ！

イグレンニュース2月でお知らせしましたのでご存知と思いますが、平成30年度補正「ものづくり・商業・サービス経営力向上促進補助金」(以下、「ものづくり補助金」という)は、2月18日(月)に公募が開始されました。

公募締切りは5月8日(水)ですので今から補助金申請に着手しても十分間に合います。現在、中小企業経営者の皆様の中で補助金獲得に取り組もうとしている方が居られましたら、下記の要領で「ものづくり補助金の申請代行」を実施しますので、是非、当協会にご相談いただきたいと思ひます。

支援内容はご相談から申請書作成代行までお受けしますが、ご相談だけでも結構ですのでご連絡をお願いします。

記

1. 支援内容	①初回相談	無料
	②事業計画書(申請書)作成支援	
	着手金	100.000 円
	採択時の成功報酬	採択額の 10%-着手金
	③実績報告書作成支援(採択後)	無料

【問合せ先及び申込先】 NPO C&S 経営支援協会 松井

TEL/FAX : 045-845-1566 E-Mail : toshio_matsui@mve.biglobe.ne.jp

→ 閑中閑話

卒業式も終わりいよいよ入学式を迎える時期になりましたが、1カ月ほど前に都内のある大学の先生と話をすることがありました。「入試も終わり、一段落ですね」と訊くと「いや、これから合格者の上乘せをどのくらいにするか決める重要な会議がある」とのこと。その大学は、必ずしも第1希望の大学には位置付けられていないので、定員通りとると何割かの合格者が「逃げて」しまい、定員割れになると文科省からの補助金をカットされてしまうし、多すぎて定員オーバーでもカットされてしまう。今までの経験値や他大学の受験者数の動向を見て何割増しにするのか真剣に検討するという。大学の経営に関わるから時間をかけて検討するそうである。

また、任期制が強まり5年を期限で助教は新しい研究場所を探さなくてはならないという。自身の研究テーマを観てくれる指導者のいる研究機関に行かなくてはならないので、独自性のある研究を志している人は、研究者人生に危機を迎えかねない。アカデミズムにおられる人の話を聴けば聞くほど、このままの日本の高等教育が続けば、将来日本にノーベル賞研究者は輩出しないのではと身の程知らずの余計な心配をしてしまう。(愛賢司)

神奈川県異業種連携協議会

交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください（無料）

【月】	①②③宮川 豊 ④⑤荒 直孝
【火】	①②④⑤児玉 英二 ③愛賢司
【水】	①菊地 ②指方 ③加藤 ④愛⑤芝
【木】	①②③④⑤松井 利夫
【金】	①愛賢司 ②指方 順一郎 ③④⑤織方
【土、日、祭 日】	休業

神奈川県イグレン事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7階 インキュベートルーム 703号

T/F 045-228-7331 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com>

Mail : iguren@kanagawa-iguren.com

地域の幅広い人材交流を目指した「神奈川新産学公交流サロン」
第80回西湘サロン開催のお知らせ

神奈川県異業種連携協議会（イグレン）事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階

【日時】：平成31年5月13日（月）午後6時30分～8時30分（開場6時）

【場所】：おだわら市民交流センター**UMECO** (TEL :0465-24-6611)

【会費】：参加費1,500円（当日）

* 次回 80回予定：平成31年7月8日（月）（開催時間、場所は今回と同じ予定です）



1. 話題：『**関東学院大学材料・表面工学研究所**
～進化する最先端表面処理技術～』
高井 治（関東学院大学 材料・表面工学研究所 所長）

表面処理全般にわたって基礎から応用、実用化までの研究開発を行う環境が整い、今年から表面処理関連のコンソーシアムを再構築し展開する予定の関東学院大学材料・表面工学研究所。

素材の表面を1ナノメートル（10億分の1メートル）という極薄い透明な膜でコーティングし、ハスの葉に似た微細な凹凸を作り出して水を弾く「超はっ水膜技術」を開発した高井所長より、同研究所が目指す、多くの人々の暮らしが豊かになるような最先端の研究成果の数々を、新たにご紹介いただきます。

2. テーブルディスカッション（ビール、つまみを用意します）
テーブルを囲み、自由に討論・交流を行います。

3. 場所



JR 小田原駅東口より
徒歩約2分です。

住所：小田原市栄町一丁目1番27号（駅東口駐車場1階）（TEL :0465-24-6611）



個人で参加される方は、申し込みの必要がありません。多人数で参加される方は会場の準備の都合もありますので下記参加申込書で参加人数を教えてください。

参加申込 E-mail yoshiike@maple.ocn.ne.jp

Tel & Fax 0467-32-5154（吉池）

氏名	(参加人数： 名)	所属・役職	
住所		電話番号	()
		FAX番号	()